

第5回かながわ教育学講座

令和3年10月3日、第5回かながわ教育学講座が開講されました。新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除されたため、今回初めての対面研修となりました。第5回教育学講座のテーマは「インクルーシブ教育」です。

講座「インクルーシブ教育」



講義では、神奈川県におけるインクルーシブ教育の特色や実際の取組について知り、教育のユニバーサルデザイン化について理解を深めました。講義の概要は次のとおりです。

- ・インクルーシブ教育は、障害のあるなしにかかわらず、すべての人が地域で豊かに暮らすことができる「共生社会の実現」を目指している。
- ・神奈川県は「インクルーシブ教育」を推進しており、支援教育の対象は、「各学校に在籍する全ての子どもたち」である。
- ・共生社会の実現に向けて、できるだけすべての子どもが、同じ場で共に学び、共に育つことを目指し、現在、全ての学校においてインクルーシブな学校づくりに取り組んでいる。
- ・全ての子どもに、その子ども一人ひとりのニーズにあった、適切な支援を行うことを「合理的配慮」といい、「合理的配慮」を提供するための基礎となる環境整備のことを「基礎的環境整備」という。「合理的配慮」や「基礎的環境整備」を充実させていくことが重要である。
- ・教育のユニバーサルデザインを考えたとき、「授業のユニバーサルデザイン」「教育環境のユニバーサルデザイン」「人的環境のユニバーサルデザイン」の3つの柱に分けて考えることができる。

グループ活動

グループ活動では、仮定の事例を通して、インクルーシブ教育を実践的に考えました。グループに分かれて、「子どもが困っていること」や、それに対してどのような支援の手立てが考えられるかを話し合いました。また、その手立てが、「他の子どもに対しても有効かどうか」を考え、どのように工夫したらどの子どもに対しても有効になるかを話し合うことで、教育のユニバーサルデザイン化について迫りました。最後に、各グループで話し合った「困っていること」と「支援の手立て」を発表しました。

- 他グループの発表では着目する点や手立ての考え方などが異なり勉強になった。
- 対面でグループワークができて考え方が深まりました。
- とても有意義な話し合い活動が出来ました。まだまだ話し足りないことが沢山あるので、どんな支援ができるのかなど、自分の中でも学びを深めていきたいです。

受講者の感想